

科目ナンバー	SOC-1-002-jk			科目名	情報倫理		
教員名	成川 忠之			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	現代社会は、情報通信技術が発達し、情報の積極的な活用を可能とする社会基盤が整備され、「情報社会」と称されるに至っている。我々も、スマートフォンやタブレットなどの情報端末を携帯しながら、いつでも、どこからでもインターネットにアクセスすることができる「モバイルネットワーク時代」の中で生活している。こうした情報通信技術が社会に対して強い影響力を持った今日では、倫理問題を引き起こすため「情報倫理」の必要性が強く認識されつつある。そこで本講義では、情報の利用や取り扱いに関する身近な事例を題材にしながら、情報倫理についての理解を深めていくこととする。Modern society has developed a social infrastructure that enables the active utilization of information by the development of information and communication technology, and it is called "Information Society". We also live in the "Mobile Network Era" where you can access the Internet anytime, anywhere, while carrying information terminals such as Smartphones and Tablets. Today, when such Information Communication Technology has a strong influence on society, the need for "Information Ethics" is strongly recognized as it can cause ethical problems. Therefore, in this lecture, we will deepen our understanding of information ethics while using subjects familiar with the use and handling of information as subjects.						
到達目標	・インターネットに代表されるICTの発展とその社会での活用について知ることにより、情報社会に対する理解を深める。・情報社会において求められるルールやマナーについて学び、コンピュータを利用した様々な脅威から身を守るための知識を身につける。その上で、ICTの利用が社会や組織、個人にとって負の影響を与える危険性があることを認識し、それを指摘することができるようになる。・ICTの利用によって生じる様々な課題について検討する。具体的には、ネットワーク犯罪、コンピュータウィルス、情報セキュリティ、知的財産権の侵害、情報の流出といった問題を取り上げる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式中心で行うが、ケース用いたグループ討議を行うこともある。また、毎時間課題が課される。また、テキストは使用せず、パワーポイントや映像資料を中心に講義を行う。したがって、受講の際にノートをとる習慣をつけること。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特になし						
アセスメントポリシー及び評価方法	毎回の講義時に課題を課し、理解度・知識・意欲を評価する(約4割)。また、期末試験(約6割)を実施し、これらにより総合的に評価する。						
教材	教員が作成した資料を講義中に配付する。						
参考図書	授業中に紹介する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション 情報倫理への招待情報倫理とは何か? 身近な事例から情報倫理の問題を考える。						
授業外学修内容	例をあげながら、自分の身の回りで起こった倫理問題を指摘する課題を課す。					時間数	3
2週目							
授業学修内容	情報社会とモバイルネットワーク情報通信技術の発達と情報社会の進展について学ぶ。						
授業外学修内容	授業で学んだ、情報社会とモバイルネットワークについての課題をMoolde上で提出する。					時間数	3
3週目							
授業学修内容	インターネット上のルールとマナーと倫理問題の違いとは何か、実体験に基づくマナーと倫理の違いについて学ぶ。						
授業外学修内容	授業で学んだ、インターネット上のルールとマナーについての課題をMoolde上で提出する。					時間数	3

容			
4週目			
授業学修内容	インターネットの利用とトラブルインターネットを利用することにもなうトラブルについて学ぶ。インターネットにおける脅威を身近な事例やSNS上で起こっている問題から学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、インターネット上のルールとマナーについての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	情報社会の光と影1コンピュータ犯罪、ネットワーク犯罪について、これまで起こった犯罪を参考にしながら、これからの社会で気を付けるべき点について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報社会の光と影についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	情報社会の光と影2現在の情報社会における倫理問題情報流出・情報流出の実際のケースを基に、予防策・対応策について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報社会の光と影についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	個人情報・プライバシーの保護個人情報・プライバシーをとりまく倫理問題と保護・デジタルアイデンティティについて学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、個人情報・プライバシーの保護についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	10
8週目			
授業学修内容	情報セキュリティ1コンピュータ・ウィルスの歴史・コンピュータ・ウィルスの種類に学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報セキュリティについての課題をMoolde上で提出する。	時間数	5
9週目			
授業学修内容	情報セキュリティ2組織における情報セキュリティについて学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報セキュリティについての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	情報セキュリティ3認証・暗号・ファイル管理とセキュリティポリシー・セキュアなパスワードについて学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報セキュリティについての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
11週目			
授業学修内容	情報セキュリティ4我々の身近に存在するサービスにおける情報セキュリティと倫理問題・演習：身近なサービスの負の側面について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報セキュリティについての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	著作権保護1著作権法とその改正、データのダウンロードにおける倫理問題、これからの社会が著作権について進むべき方向性について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、著作権保護についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
13週目			
授業学修内容	著作権保護2情報通信技術の発達による情報の発信と著作権・肖像権の問題、これからの社会が著作権について進むべき方向性について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、著作権保護についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3
14週目			
授業学修内容	情報通信技術と社会変容情報社会のコミュニケーションについて学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、授業で学んだ、著作権保護についての課題をMoolde上で提出する。についての課題をMoolde上で提出する。	時間数	3

15週目			
授業学修内容	まとめまとめとして、情報化社会に潜む危険性について学ぶ。		
授業外学修内容	授業で学んだ、情報化社会に潜む危険性についての課題をMoodle上で提出する。	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		45	
その他に必要な自習時間		45	

Number	SOC-1-002-jk	Subject	Ethics in Information Science		
Name	成川 忠之 (Narukawa Tadayuki)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Modern society has developed a social infrastructure that enables the active utilization of information by the development of information and communication technology, and it is called "Information Society". We also live in the "Mobile Network Era" where you can access the Internet any time, anywhere, while carrying information terminals such as Smartphones and Tablets. Today, when such Information Communication Technology has a strong influence on society, the need for "Information Ethics" is strongly recognized as it can cause ethical problems. Therefore, in this lecture, we will deepen our understanding of information ethics while using subjects familiar with the use and handling of information as subjects.</p>				